

## 札幌デビュー30周年に寄せて

思い起こすと、初めての札幌でのリサイタルは、まだKitaraコンサートホールが完成する前の'95年…年月の流れを感じますが、幾度となく来演させていただいている札幌でのステージ一つが、私の音楽人生の中に深く刻まれています。

今回は、ライフワークでもあるシューベルトの真髓が内包された傑作、第16番のソナタを中心に、モーツァルト、ブラームス、グリーグの名曲をお楽しみいただきたいと思います。

札幌デビュー30周年公演が、皆様と音楽の喜びを分かち合える特別なひとときとなりますように願っています。

田部京子



### 田部京子 (ピアノ)

Kyoko TABE (pianist)

東京芸術大学附属高校在学中、17歳で日本音楽コンクール優勝。ベルリン芸術大学に学び、エピナール国際ピアノ・コンクール、シュナーベル・コンクールにて第1位、ミュンヘン国際音楽コンクール (ARD) 第3位など受賞。バイエルン放送響、バンベルク響、モスクワ・フィルほか国内外の多数のオーケストラと共演し、室内楽でも世界のトップアーティストから共演者に指名され厚い信頼を寄せられている。

CDは35枚以上をリリース、シューベルト、メンデルスゾーン、シベリウス、ドビュッシー、グリーグ、シューマン、ブラームス、ベートーヴェンなど各作品集の多くが国内外で特選盤となり、ステレオレビュー (米)、BBCミュージックマガジン (英)、フォノフォルム (独) 各誌で高い評価を受けている。スイスで放送された演奏家名を伏せた世界の名盤「シューベルト：ソナタ第21番」聴き比べの番組では、評論家、リスナーなどによる投票で第1位を獲得した。吉松隆『プレイアデス舞曲集』、同氏から献呈された協奏曲『メモ・フローラ』などでも注目を集めた。『ます&シューマン：ピアノ五重奏曲』(共演：カルミナ四重奏団) がレコード・アカデミー賞を受賞するほか、『ブラームス：後期ピアノ作品集』、『モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番二短調、第21番八長調』がレコード芸術誌 (リーダーズ・チョイス2012) 器楽部門第1位、協奏曲部門第2位に、『ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第30、31、32番』も『ベストディスク2015』(同誌) に選出。

リサイタルシリーズ (浜離宮朝日ホール) は、2003年からスタートしたシューベルト、シューマン、ベートーヴェン、ブラームスなどのシリーズに続き、2016年～2022年の『シューベルト・プラス』シリーズも大成功を収め、2024年からスタートした新リサイタルシリーズ『SHINKA-進化×深化×新化』も高い評価を得ている。

また、NHKドラマ「夏目漱石の妻」の挿入曲「シューベルト：ピアノ・ソナタ第21番」の演奏でも話題を呼んだ。

2020年には、ベートーヴェンの「ピアノ協奏曲二長調op.61a (ヴァイオリン協奏曲二長調op.61のピアノ協奏曲版)」と「皇帝」をサントリーホールで一夜に2曲演奏し高い評価を得ている。2022年1月には、田部京子に献呈された「シューベルト：ピアノ・ソナタ第21番ピアノ協奏曲版 (吉松隆編曲)」の世界初演が多くの話題を集め、8月には大阪で関西初演を行った。2023年にCDデビュー30周年を迎え、リリースされた「メロディー」は特選盤に選出。

第一線で演奏活動を続け、日本を代表する実力派ピアニストとして人気を集めている。桐朋学園大学院大学教授。

公式HP: <https://www.kyoko-tabe.com>

